

生きがい

編集発行

新居浜市高齢者生きがい創造学園

新居浜市上原二一八一

(☎ 四四一四八二六)

喜び多き塩田の余情

多喜浜塩田資料館建設推進委員会
委員長 真鍋 篤正



多喜浜地区はかつて、国内有数の塩田地帯として栄えた。別子銅山と共に新居浜の近代化を支えたが、一九五九年国策で廃田になった。塩田跡地は埋め立てられ工業団地となり、昔の面影を探るのも難しい。

多喜浜地区に生まれ育った私は、多喜浜塩田の歴史や文化を後世に伝える活動、塩田遺産を活用した地域づくりに取り組んでいる。多喜浜塩田の歴史は三〇〇年前に始まる元禄一六年深尾権太輔らが西条藩の許可を得て塩田築造に着手、しかし深尾の存命中には完成せず、開発は初代天野喜四郎らが引き継いだ。享保の大飢饉(一七三二〜三三年)の際、初代喜四郎は藩に食糧対策を建言、領内の難民を集めて塩田開発に従事させ、救済米を支給。同藩では一人の餓死者も出さなかった。この地域が後に多喜浜と呼ばれるようになるのはこの時、飢から救われた多くの人々の喜びを表したからだといわれている。

塩田築造事業は慶応年間迄、一六〇年余の歳月をかけ五浜二四〇町歩を完成させた。明治二六年旧商法の施行により県内で逸早く東浜産塩株式会社を設立した藤田達芳は塩田地主の家の出で、衆議院議員も歴任した。国会で塩田国有論を提唱し明治三八年塩専売法の創設に導き近代化に貢献した。

二五〇年余営々と塩づくりりに携わってきた多喜浜塩田も安い外国塩と製塩法の近代化に抗しきれず廃田を迎えた。廃田後半世紀を前に二〇〇三年公民館運営委員の皆さん、私の同級生や幼馴染み、教え子と共に塩田資料館建設推進委員会を立ち上げ、塩田遺産を活用したふる里づくりに取り組んでいる。二〇〇五年には多喜浜小学校に念願の「塩づくり体験学習場」が完成した。学校と地域社会が手を取り合う事で子供達に地域社会での役割を与える事に繋がっている「かしよい」と「おすそわけ」これらは塩づくりから来ている。「かしよい」とは助け合う心「おすそわけ」とは分かち合う心の事だ。こうした多喜浜ならではの精神風土も後世に残していきたい。

7	6	5	4	2	1	日
木	水	火	月	土	金	曜
別子GG(ゴルフ)	男の料理教室 ピアノ教室 書心(書道) つつじ(俳句) ブルースカイ(ハーモニカ) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球)	別子GG(ゴルフ) ワルツ(ダンス)	四季の組み木教室 グラウンドゴルフ教室 墨友(書道) 山茶花(俳句) さくら(茶道) 桃山D(卓球) ハッピー(ダンス)	学園祭グラウンドゴルフ大会	茶道教室 弥生(生花) 広瀬GG(ゴルフ) 桃山C(卓球) ハッピー(ダンス)	午前
学園祭グラウンドゴルフ大会予備日 サンシャイン(写真) はつらつD(体操) 亀池B(陶芸)	パソコン教室II シヨパン(ピアノ) ミニッツ(ハーモニカ) 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)	絵手紙教室 高野社会を賢く生きる 絵手紙ひまわり シヨパン(ピアノ) 桃山A(卓球) 亀池B(陶芸)	山野草栽培教室 百描会(美術) はつらつC(体操) 桃山B(卓球) 亀池A(陶芸)	学園祭グラウンドゴルフ大会	なごみ(茶道) 山雄会(カラオケ) 桃山A(卓球) はつらつB(体操)	午後

平成22年度 購入図書一覧

図書名	著者名 編集者名	出版社名 発行所名
野菜作りエキスパート やさしい病害虫の防ぎ方	阿部善三郎ほか	日本植物防疫協会
暮らしの絵手紙365日	桜井美貴子	辰巳出版
関西写真年鑑2010	本部長 山本雅彦	全日本写真連盟 関西本部
句集 水菓子	須川洋子	角川書店
大人のためのやさしく弾ける クラシック名曲100	リットーミュージック	リットーミュージック
スーパーマップル四国道路地図	昭文社編集部	昭文社
私流 絵手紙365日	オフィス彩蔵	辰巳出版
長谷川権全句集	長谷川権	花神社
四国八十八カ所ウオーキング	JTBパブリッシング	JTBパブリッシング
中井桂子の楽しい風景と絵手紙教室	中井桂子	(株)日貿出版社
動物と立体パズル	小倉三郎	創和出版
基本からよくわかる 「初めての絵手紙百科」	小池邦夫 小池恭子	主婦の友社

20	19	14	13	12	8	7	日
水	火	木	水	火	金	木	曜
そよかぜ(俳句)	書硯(書道) 梅(俳句) 別子GG(ゴルフ) ワルツ(ダンス)	はつらつA(体操) 桃山D(卓球) 別子GG(ゴルフ) 街道をゆく 書峰(書道)	桃山C(卓球) 広瀬GG(ゴルフ) ブルスカイ(ハーモニカ) 書道教室	ワルツ(ダンス) 別子GG(ゴルフ) みどり(茶道) 絵手紙たんぽぽ会 短歌みらい 家庭菜園教室	桃山C(卓球) 広瀬GG(ゴルフ) いとのこ(組み木) 趣味の料理教室	はつらつA(体操) 桃山D(卓球)	午前
シヨパン(ピアノ) ミニッツ(ハーモニカ)	絵手紙さくらんぼ シヨパン(ピアノ) 桃山A(卓球)	ひろせ(コーラス) はつらつD(体操)	桃山B(卓球) パソコン教室II コンテニュー(ハーモニカ)	絵手紙すみれ会 心とからだの健康管理	桃山A(卓球) 山雄会(カラオケ) パソコン教室II はつらつB(体操)		午後

自然との対話

(書道サークル 墨友)

貧弱だが我が家にも庭がある。樹木が気促に枝葉を上げ、名も知れぬ植物が自由を謳歌している。スズメが大家族で定住し、見知らぬ猫が悠然と昼寝を済ませて消えてゆく。

この暑さだ。池の鯉よろしく窓を開く。期待はおろか失望に終わる毎日だったが、新しい発見があった。

小さな空間に、自然が蔓延していたのだ。

「キイロスズメバチ」もその一つだった。フアーブルを学ぶには遅きに失するが、一時暑気を忘れさせて呉れた。

スズメ蜂の怖さは耳にしていたが、実物を目にするのは初めてだった。てつきり「アシナガバチ」と信じ込んでいた。それとは知らぬまま、構築中の巣を二個破壊した。何か変だ、調べて「怖い生物」と知る。

ベランダに洗濯物を広げようとする度、威嚇してくるのだ。ベランダ足下の庇にソフトボール大の巣があった。作業着を重ね、帽子にゴーグルで防備する。「ゴキジェット」と竹竿で何とか駆逐に成功したが、威嚇は翌日も続く。別働隊の陣地は雨戸戸袋の中だった。信じられないような隙間を成虫が出入りする中、近辺を警戒要員だろ数字が遊弋する。

覚悟を決めた。長期戦に突入すると。
(神郷 伊藤 晴敏)

繋がる喜び

(絵手紙 ひまわり)

一年間の教室を終え、もう少し習ってみたい有志、二〇名(女性一七名、男性三名)がサークルを作り、名を「ひまわり」としました。加藤恵先生に教えを頂いております。

ご存知の通り絵手紙とは絵のある手紙です。絵を描くのも大切ですが、基本的に、手紙と言う部分をより大切にしております。「ヘタでいいヘタがいい」と言い続けながらロビー展も無事終え、次は学園祭に向け、バラエティーに富んだ絵手紙を勉強中です。

今年の異常気象には閉口致しましたが、サークル全員老体に鞭打ってどうにか夏を乗り切ったかと思われます。

繋がる喜び、絆を大切にしてゆけば、今後の人生を豊にしてくれるものと信じております。

これからも健康に留意し絵手紙を生きがいの一つとして、大いにサークルで学び、皆と一緒に楽しく年を重ねてゆきたいと思えます。

(神郷 越智 親和)

◇ご恵贈お礼◇

◎ロビー生け花(九月度)

鴻上 美智甫 様 (講師)

◎川柳にはいま 九月号
にはいま川柳会 様

日曜	午前	午後
----	----	----

26 火 別子GG(ゴルフ) ワルツ(ダンス)

27 水 書道教室
ソナタ(ピアノ)
ブルースカイ(ハーモニカ)
クロワッサン
広瀬GG(ゴルフ)
桃山C(卓球)

28 木 やまびこ歩こう会
ウォーカーズ別子
別子GG(ゴルフ)
桃山D(卓球)
はつらつA(体操)
ひろせ(コーラス)
はつらつD(体操)
亀池B(陶芸)

29 金 ハッピー(ダンス)
桃山C(卓球)
広瀬GG(ゴルフ)
桃山A(卓球)

◇今月のロビー展◇

(九月二十四日〜十月十四日)

絵手紙すみれ会

絵手紙さくらんぼ

そよかぜ(俳句)

*十一月の予定

書硯(書道)

墨友(書道)

ウッド(組み木)

持病とも生涯仲良く

(講座 心とからだの健康管理教室)

古郷を離れて五十余年が過ぎた。両親が健在のときは時々実家を訪れたが、亡くなつてからは墓参りには行くが、実家を訪れることは滅多にない。墓参りの際墓地で大勢の人と逢い、軽く会釈をするが誰一人として、名前も顔も分る人はいない。私自身が今浦島になつた気分になる。

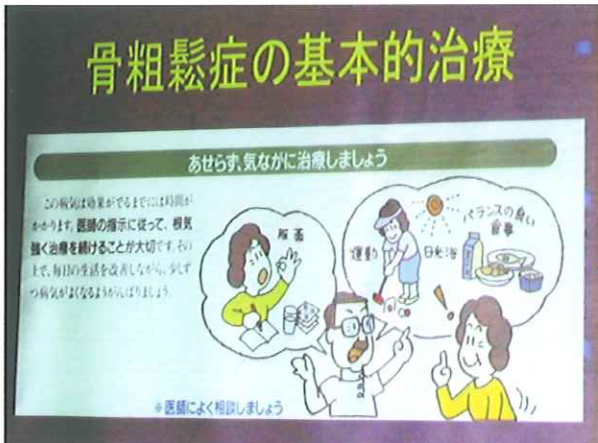
私が生れ育つたのは、当時百二十世帯程の集落で、男が六人女が二人の同級生がいたが、現在では男二人女二人しか生きていない。古里に顔見知り居ないのは当然であると思う。

現役当時は自宅と職場を往復するだけで近所の人達とは滅多に顔を合わすこともなく、定年前自治会の世話役をさせてもらったお陰で、地域の方々の顔と名前を覚えることができた。更に学園を受講し、サークル活動を通じて交友の輪が一層広がった。

また、年を重ねるに従つて人間以外の付き合いも始まつた。生活習慣病との付き合いである。最初は高血圧症程度であつたが、加齢と共に一つ二つとふえ、近所のかかりつけ医院のお世話になつてゐる。生涯のお付き合いになると思うが、機嫌を損なわせまいよう、食生活に十分気を付けながら、付き合い以外にないと思つてゐる。

(神郷 近藤 茂)

「講座 心とからだの健康管理教室」の受講生



出会いから友達へと

(サークル フレッシュ2009)

年齢を重ねるに従い多くの方々との出会いが生まれ育つて行きます。私は昨年友人夫婦と「郷土を歩く」講座に申し込んだのが縁で、四十五名の方々との出会いが始まり、年間七回の活動の中から回を重ねるに従つて、挨拶から会話へと徐々に親睦が広がって参りました。

旧跡や遺跡史跡をめぐりながら新らしい発見があり、又九月の日浦から銅山峰への山道を老体にムチ打つて無心で登り、自分の体力との勝負。途中楽しみにしていたダイヤモンド水に辿り着き、地下水の冷たさと美味しさに皆さん疲れを忘れたかのように笑顔と笑い声が、そして頂上(銅山峰)へ登り切つた時の感動、市内を一望に眺めた時の歓喜、そうした中から人と人との心の交わり、皆さんの心に友情と交流の輪が広がり、徐々にサークルをとの思いが芽ばえ十二月にはサークルの発足を開催する事が出来、会員三十三名「フレッシュ2009」が誕生いたしました。

今年の一月から一年生サークルの活動がスタートしました。今では、月一回の活動を楽しみに、日々、皆さん思い思いに身体づくりに励んで、長期に続けて行けるよう頑張っています。今後は出会いの輪を広げる意味から「郷土を歩く」他のサークルとの交流が出来ればと願っております。

創造学園のご協力をよろしく願います。

(角野 篠原 貢)

…待つてまーす

(ピアノサークル ソナタ)

今年度のピアノ教室は、定員十五名に四十六名の応募、競争率三倍強は「パソコン教室」「郷土を歩く」に次いで三位だったようです。また、男性も多かったと聞き、大変嬉しく思いました。

戦中・戦後生まれの我々としては、ピアノが弾けるなど思いもしなかったことで、第二の人生を迎えて静かにピアノに向き合えるなんて、実にいいですね。

幼少の頃は極端な食料難で、いつもひもじい思いをし、中学・高校を出ると時の高度経済成長の大波にのみ込まれ「合理化」「海外進出」あげくは「リストラ」の嵐の中で、無我夢中で働いたものです。

そんな人たちが、定年を期にピアノを習う、恵まれた環境・やさしい先生・楽しく集い合う仲間たち……スバラシイ

いま、ピアノの学園生は四つのサークルと三年ぶりに復活した教室、合わせて約七〇名が高橋千代先生・恵里先生に教えていただいています。年一回の発表会と三月の学園祭に向けて、各人がそれぞれのレベルで頑張っています。

『もしもピアノが弾けたら』と想像しているあなた、これまでにどれかの講座を修了したら、サークルに入ることができま

きます。いちど気軽に覗いてみませんか……。

(中萩 有森 司)

学園歌壇

サークル「短歌みらい」

龍神平に流れる霧は西へゆく空木の花も彩いろを変えつつ
鳴田 光弘

部活終えし日やけの少年戻り来て一目散に
竹内 芳子

自販機目指す
若き日に憧れし人シユナイダー伝記たどり
渡部 悟

て真実を知る
手作りの百回記念の歌集をば君に贈らん一
徳永 康夫

筆添えて
五分咲きの桜の下をウォーキング淡き光と
齊藤 哲雄

学園柳壇

サークル「ねこやなぎ」

今日もまた汗と笑顔でボランテイア 伊藤 純子
多忙さが明日の元気を繋ぎとめ 浮川 良美
忙しいうちが華よと祖母が言う 岡田 文子

忙しさの一点張りで役を逃げ 加藤 忠吉

赤字ゼロつつましやかに生きている

講師 井原みつ子

学園俳壇

サークル「あすなろ」

籐寝椅子いつも和服の父なりし 加藤 和子
山峡の木造駅舎蝉時雨 岡 静子
伊賀上野梅雨の駅舎に芭蕉像 篠原幸太郎

サークル「山茶花」

猛暑日やビル陰歩くセールスマン 森 フサエ
ホールインワン頭上に群れる赤とんぼ 白石多恵子
青芒活けてみどりの風を待つ 滝本 隆子

サークル「梅」

昔栄へし廃鉱山に合歓の花 那須口静子
かき氷昭和の色を掬ひけり 細川 衛
目覚れば立秋なりの風が来る 山崎 敏慧

サークル「つつじ」

沿道の無人売場や赤のまま 永海 平三
トマト真っ赤や花嫁料理褒められる 福永やすし
秋風や二本の竿に蒲団干す 浜田美智子

書齋の軒がよいと妻言ふ吊忍
通夜の座に遠き花火の音とどく
素潜りが上手になりて夏終る

講師 阪上 史琅